

議案第18号 令和2年度八千代市一般会計予算に対する組替え動議

上記の動議を別紙のとおり会議規則第16条の規定により提出します。

令和2年3月13日

八千代市議会議長 木 下 映 実 様

提出者	八千代市議会議員	堀 口 明 子
賛成者	八千代市議会議員	植 田 進
	同	伊 原 忠
	同	飯 川 英 樹
	同	三 田 登

提案理由

1 組替えを求める理由

来年度予算は市庁舎建設予算を先送りし、避難所となる体育館の修繕や公共施設の耐震改修工事に力を入れることには一定の評価をするが、同時に消費税の増税や社会保障改悪による市民負担増から、市民の暮らしを守るために以下の内容を盛り込み予算の組替えを求める。

2 組替えの基本方針

- (1) 喫緊の課題である災害時の避難所となる体育館の空調設備整備及び阿蘇小学校の増築を進める。
- (2) 子育て中の保護者の負担軽減では、給食費の補助・子ども医療費の年齢拡大を行う。学校給食センター東八千代調理場実施設計費用は取りやめる。
- (3) 高齢者をはじめとした市民の生涯学習の予算を拡充する。
- (4) 日常生活の充実として道路整備やコミュニティバスの試験運行を行う。

3 組替えの内容

- (1) 歳入では、財政調整基金から6億5,229万2,000円を取り崩す。
- (2) 歳出では、喫緊の課題である体育館の空調設備整備について、議会で全会一致にて意見書案が可決していることもあり、国の補助を利用して2か年計画で進めるための予算を追加。また、生徒数の増加により阿蘇小学校校舎を増築するための実施設計費用を追加する。
- (3) 保護者の負担軽減については、給食費は兄弟の多い家庭への負担軽減として、第2子半額、第3子以降無料とする。さらに子ども医療費は、年齢拡大を進めている他の自治体と同様に高校卒業まで拡大させる。
- (4) 一人暮らしの高齢者の安否確認としての配食サービスは、利用者を増やすためにも最低でも200円補助まで引き上げるものとし、市民の生涯学習を充実させるよう図書館予算を拡充するとともに、小・中学校に国から交付されている図書購入費の不足分を追加する。
- (5) 市民の暮らしの充実として市道の整備は最低でも原案の1.5倍の予算を計上し、コミュニティバスの試験運行を始めるための予算を追加する。

- (6) 学校給食センターの設置に関しては、自校給食方式かセンター給食方式かの議論を全く進めていないことを指摘し、実施設計費用は取りやめるものとする。
- (7) 歳出総額 6 億 5, 2 2 9 万 2, 0 0 0 円とする。

令和2年度八千代市一般会計予算に対する組替え動議（表）

歳入

（単位：千円）

費目	金額	備考
財政調整基金繰入金	652,292	
計	652,292	

歳出

（単位：千円）

費目	金額	備考
コミュニティバス	48,000	試行運転
配食サービス補助	6,628	100円を200円にする
子ども医療費	122,000	高校卒業まで拡大
道路舗装維持補修費	58,000	現在の予定額の1.5倍
阿蘇小学校増築	15,000	実施設計費用
小・中学校体育館空調設置費	240,000	緊急防災・減災事業債を活用し、2か年で計画※1
学校図書館・図書購入費	18,200	八千代市に交付される図書購入費の不足分※2
地域図書館・図書購入費	2,300	地域図書館2館の図書購入費を300万円にする
給食費補助	146,161	兄弟がいる場合の補助※3
給食センター調理場建設	△ 3,997	
計	652,292	

※1 エアコン設置費用16億円（1校当たり5,000万円×32校）を緊急防災・減災事業債（7割負担）

活用で総額4億8,000万円、これを2か年で計画するため、1年当たり2億4,000万円の試算となる。

※2 小学校と中学校の交付税上の算定額は3,344万円。予算が1,518万円計上されている。

※3 学校給食費の第2子半額に必要な額は1億1,899万1,000円、第3子無料に必要な額は2,717万円。